

広報広聴常任委員会記録

日 時 令和2年7月30日（木曜日）14時42分～15時09分

場 所 議員控室

出席者 阿部委員長、金木副委員長、小寺委員、舟見委員、工藤委員、森議長
ワザハバ 磯野議員、平山議員、船本議員、逢坂議員、村田議員

事務局 豊島局長、嶋元係長

阿部委員長（開会） 14:42～14:44

ただいまから広報広聴常任委員会を開催いたします。

本日の議題は1つ目が町民との意見交換会について、2つ目が議会による町民アンケートの実施についてといたします。まず、1つずつ進めていきたいと思えます。

1つ目の町民との意見交換会について。ここに書いてありますとおり、新型コロナウイルスの影響で町内外の各事業やイベント等が中止・延期となっており、意見交換会についても開催を延期することとしています。

まず（1）の意見交換会の開催時期。これは高齢者を対象として開催を予定しておりました。前回の委員会で秋以降の開催として再度協議することとしておりましたが、参考として今年度の町政懇談会については新型コロナウイルス感染拡大防止のため全て中止となっているとのことですので、こちらについて局長のほうから行政側がどのように対応されるのか説明していただきたいと思えます。

1 町民との意見交換会について

豊島局長（説明） 14:44～14:45

今年度の町政懇談会、こちらにつきましては委員長の発言のとおり新型コロナウイルス感染拡大防止ということで、離島地区においても例年8月に実施しておりますが、これは既に中止が決定しております。

併せて、市街地区で開催が予定されていた町政懇談会につきましても、今年度内の開催を見送るという方向性で協議決定をした旨、聞いていることをご報告いたします。

阿部委員長 14:45～14:45

それで、議会としてはどのように対応していくのかということで、秋以降の開催について協議することとしておりましたが、行政側は今年度中止ということですので、議会としてどうするか、皆さんの意見をいただきたいと思えます。よろしく願いいたします。

小寺委員 町民の意見を聞くのを簡単にやめましょうというのはもったいないが、今の時期で決めてしまうのか。今年度ではなく、年内は諦めて来年1月から3月の間で検討するというふうにするか。ただ、冬の期間になるので高齢者に来ていただくのは難しくなるのかなと思う。その場合、やり方を変えるのか、対象者を変えるのか。ちょっとまだ先が見えない状況なので、来年の3月までもうしませんというのは議会としてはもったいないと個人的には思う。先延ばしかもしれないが、まず今年は難しいと思うので、という感じでいかがでしょうか。

阿部委員長 小寺議員の意見としては、年内は見送ることにして、その間に対象者の変更も含めて検討するということによろしいですか。そういった話も出ましたけれどもほかにございませんか。

金木委員 町内でもいろいろな団体の集まりが中止になっている。町側の懇談会も今年度中止にすると言っている。今の羽幌町内や北海道内を見れば、コロナの影響はまだそうでもないのかなというところがありつつも、ニュースを見れば毎日のように増えてきている状況であるし、特定のエリアに集まって懇談するという設定は、今年度私はちょっと見送ったほうがよいのではないかと思います。そのかわり、文書で行うアンケートは何とか今年のものにしたいと言う気持ちも込めて、私はそういうふうにあります。

阿部委員長 金木委員のほうから今年度は中止にして意見交換会の代わりと言っはなんですが、町民アンケートのほうをできるだけ早くといった感じでよいですか。今2つの意見が出ましたけれども、ほかにございませんか。

工藤委員 今の状況を考えると、いずれにしても国内のコロナが落ち着かないとこういうことはできないのではないかと思います。金木委員と同意見です。

阿部委員長 今年度中止で。

工藤委員 はい。

舟見委員 コロナウイルス自体の収束の見通しが立たない中で、今年度については中止と言うことで。金木委員と同じですね。

森議長 私はどちらかというところ、小寺さんの言うことも一理あるなと思っていました。ただ、コロナに関しては人それぞれ、恐怖心も含めてものすごくばらつきがあるのが現実だと思います。本当に怖がっている人もたくさんいるのかなど。実際我々が今まで開催した約20名程度の出席者と議員10名程度ということであれば、会場を工夫してやることは、現状くらいのことであれば可能かなと思っていましたけれども。もともと対象が高齢者ということですので、決していつまでも延ばしていいということではないと思いますけれども、冬期間の議論も過去にしておりますので、結論としてはそれぞれがおっしゃっている年度内中止してですね、アンケートのほうに全力を尽くすということで結論としてはよいかと思います。

阿部委員長 今、皆さんからの意見が出まして、やはり秋以降に開催するのは厳しいという部分もありますし、コロナウイルスについては人それぞれ感じ方も違うと思いますので、一応行政側のほうも今年度中止にしておりますので、今年度は中止するというところで決定してよろしいですか。
（「いいです」と呼ぶ者あり）

阿部委員長 本来は（2）、今後の協議事項ということで、もし開催が決定すればあったのですが。開催日であったり、開催テーマということで、これについては今年度は中止になりましたけれども、また委員会を開く中でいろいろな開催方法の工夫等もありますので、そちらのほうで協議していきたいと思います。次（3）の今後の意見交換会対象者。一応予定としていますが、これについても年度内の中で次年度以降どういった方たちと意見交換会をするのかということも委員会の中で改めて協議していきたいと思いますし、今年度中止にするとすれば、任期中でいけば来年、再来年の2年しかありませんので、その中であと何回できるのかという部分も出てくると思います。そういったところも考えながらですね、今後の意見交換会の対象者というものを皆さんのほうから意見を出していただきながら決めていきたいと思いますので。それでまずはいいいですか。今後の進め方として。

2 議会による町民アンケートの実施について 14:53～14:56

阿部委員長 それではまず、1の町民との意見交換会についてを終了しまして、2の議会による町民アンケートの実施についてを議題といたします。これについては以前も説明しましたけれども、議会の広聴活動として町民アンケートの必要性もあることから、広報広聴常任委員会の調査研究事項に今後は含めていくこととしました。次に黒の四角でアンケート調査と実施までの流れの案を作ってきました。10月22日発行予定の議会だより、新アンケート用紙を織り込む場合を想定したスケジュールを作ってみました。まず①、9月末までに調査対象・内容の絞り込み。これは各常任委員会の管轄になると思います。②、アンケート用紙の作成と確認。これは10月5日予定の議会だより編集作業まで。③が以前の委員会の中でも出ました、回収箱の設置。これが10月22日設置という感じになるかと思います。④がアンケートの回収。これは1か月程度を想定して随時回収するような形になろうかと思います。アンケート集計分析が1月6日予定の議会だより編集作業まで。最後に、1月21日発行予定の議会だよりでアンケート結果を公表するといった流れになります。これについてはかなりスケジュール的に早く進めて、早く回収するというパターンを想定して①から⑥を作りましたけれども、これについてもある程度余裕を持たせた回収でもいいでしょうし、そういった部分は調整可能だと思います。一応、米印で今後の議会だよりの発行予定日、これについては今年度発行分ですが、まず10月27日、初回の入稿日が10月5日。次が1月21日、初回の入稿日が1月6日となっています。これについて、一応スケジュールを何となく作ってみたのですが、何か足したほうがいいとか、これはどうなのだというのがあればご意見いただきたいと思います。

－主な協議内容等（質疑）－ 14:56～15:09

小寺委員 これでいくと最短で10月末ということになるのですが、予算に絡めて議会としてインターネット中継ですとか、いろいろな発信を含めた事業につなげるのであれば、例えば町に要望する際に町民アンケートの結果によってということにはならないので、それが活かされるのは来年以降になるのではないかなと思うのですよね。予算に関係なくするのであればいいのですが。当初、研修の時にも話があったとおり、

町民の声もあつての要望をしたほうが町側の反応も変わってくるのではないかという話もあつたので、もし予算査定に間に合わせるのであればもっと早めに、議会だよりとセットにしなくても、前倒しでやるパターンもありかなというふうには思いますし、アンケートを今後どう生かしていくかというところにも関わってくるのではないかなと思うのですよね。アンケートを取ったのはいいですけども、それをどう生かそうと思ったときに予算付けされていません、今年ではできませんね、という1年で終わってしまう気がするので、アンケートを基に何をしたいかというのは、自分は予算に結びつけるためのアンケートだと思ったので、その辺はどうなのでしょう。

阿部委員長 議会だよりに折り込むといった、前回の委員会の中でもそういった意見も出ましたので、その場合だとかういったスケジュール、回収にしてもかかるのかなと。小寺委員おっしゃいましたように、インターネット中継についてアンケートを取って、それによって予算要求に臨むというのであれば、また別のアンケートの方法というのも当然必要になろうかと思えますし、そうなった場合に議会だよりに折り込んで(2)のほうに回収方法が書いてありますけれども、例えばメールであったり、QRコード等を使ってすぐ回収、アンケートの答えをいただくという方法も1つかもありません。これはあくまでも議会だよりに折り込んで回収箱に入れてもらう、それをまた回収して分析してといった流れの中での話なので、スピード感を持ってやるのであればまた別の方法というのも検討していかなければならないのかなと思います。ほかにございませんか。

森議長 配布に関しては議会だよりに折り込むのがベストかなと。別に配るとかいろいろ出ましたが難しいですし、回収方法についてはQRコード等も含め、これから検討していけばいいと思うのですが、これが最善かなという気がします。小寺委員のおっしゃることもよく分かるのですが、別に1月21日の議会だよりにアンケートの結果は最終版として発表するということだと思うのですが、例えば1か月間空けていますけれども、実際にアンケートをやったときに1か月の間が必要なのか。大体来るものは後半のほうになるとあまりないということで、もうちょっと絞り込んだ中で要点や必要なものに関しては、いわゆる議会だよりの発表とは別に議会として取りまとめて、マスコミ等には発表するだとかいろいろ検討していけばいいのかなと。そうすると、町

の予算要求という部分では議会が出すのが12月上旬ですから、それに間に合うような手立てというのもできなくはないかなと思いますので。工夫次第によっては。大きくはまず、事前準備のためにはいつ折り込むということを決めないと動けませんので。私としては、QRコードでも回答できるという前提の中で、10月22日ごろ発行の議会だよりにより折り込むと。これはほかの委員会と設問などをやり取りする中で、大体このぐらいにしておかないと、あまり早めても難しいかなと思いますので、工夫の中でそういうふうに進めていけばいいかなと思います。

阿部委員長 ほかになれば(1)のアンケート実施時期のほうを決めていきたいと思えます。これについては10月22日の議会だよりにより折り込む形でよろしいですか。となると、各常任委員会のほうで改めてアンケート内容の絞り込み等の作業が出てくると思えますので、そちらのほうも各常任委員会で進めていただきたいと思えます。いいですか。(「いいです」と呼ぶ者あり)これについては、スケジュール中①の9月末までには調査対象と内容の絞り込みを行っていただきたいと思えます。次に(2)のアンケート用紙の配達回収方法ですけれども、これについても議会だよりにより折り込むということで、回収方法の部分でQRコード、議会事務局のメールアドレスとファックスですね。あと郵送。いろいろな方法で回収するようであればいいのかなと思えますけれども、それでよろしいですか。回収箱についても、どこに設置するのかというのを改めて決めなければならないと思えますので。一般的な感じでいくと役場であったり公民館であったり、指定管理の部分でいけば総合体育館、サンセットプラザ、それから公共施設ですね。

森議長 1点、通常の流れだと思うのですが、広報広聴常任委員会が原稿を作るのは10月5日ということで、発行が22日ということで17日間あいだをみているのですが、これは普通の流れですか。

阿部委員長 そうですね。

森議長 もっと早くすることはできないですか。5日に編集作業をやって、例えば15日までに印刷お願いしますとか。

阿部委員長 ちょっと、そこまでは厳しいのかなと。

森議長 少しでも早くできれば早くスタートできるので。

小寺委員 当初話されていたのは、広報は第2週と第4週の木曜日に回ると。第2週は町の広報が回るので、第4週の水曜日あたりに配布するというふうにして欲しいと。町の広報とかぶると、どうしても厚みが出るので議会のほうは後半にしてほしいということ saying、この編集と印刷入稿の作業だと思うのですよね。それを2週目にするとなると今度は編集作業がもっと前倒しになりますので、2週間前倒しになるとかなり委員の負担は大きくなる。皆さん大変な作業しているので、その辺みんなです……。

森議長 私としては編集作業云々の話ではなくて、印刷屋さんとの話し合いの中で、少しでも早く印刷・校正できて、昔からほぼ完成品で入稿、チェック事項などもほぼないような気もするので、1日くらいで印刷を多分やっているのかなと想像してですね。それからすると、交渉次第においては、少し早めていけるということもあるのですけれども、2週・4週ということであれば、2週間前倒しするのはちょっと難しいのかなと。毎週1回入れているわけではなくて、月2回ということであれば難しいかなと思いますけれど、ちょっとチャレンジするくらいのは。厚くなっても大した問題ではないというふうに思いますので、難しいとは思いつつ一応試してみるのも1つかなと思っています。それと、回収箱設置の場所ですけれども、幅広く結果がどうなるか見当もつかないですけれども、行政の建物というのは限られた人間の出入り、体育館にしても利用者はかなり限られていますので、場合によっては大手スーパー等に了解を得て、置くくらいのもも交渉しているのではないかなと。ホクレンショップとか、コープとか。あの辺に置くと目立ちますから、議会としてのPRにもそのとき分からなくても、後でこういうものを見たよということもあって、相乗効果も期待できなくもないかなと思いますので。それも今後具体的なところで検討してみたらどうかと思います。

阿部委員長 ほかにございませんか。アンケート開始について、回収箱の設置場所であったり、その他の回収方法についても今後の委員会等の中で協議検討していきたいと思っております。お願いいたします。それでは(3)のその他ですけれども何かございませんか。なければ終了したいと思います。それでは以上をもちまして広報広聴常任委員会を終了いたします。

す。お疲れさまでした。